

国際ガールズメッセへの文部科学大臣メッセージ（案）
（ガールスカウト「100周年記念式典およびコミュニティアクション・
チャレンジ100アワード表彰式」）

皆さん、こんにちは。文部科学大臣の末松信介です。

本日、公益社団法人ガールスカウト日本連盟主催の国際ガールズメッセにおいて、ガールスカウト活動「100周年記念式典」が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。また、「コミュニティアクション・チャレンジ100アワード」において、優秀な成果を収められた皆様、誠におめでとうございます。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインでの開催となり、私も、実際に皆様とお会いし、懇談できることを楽しみにしておりましたので、大変残念に思います。

さて、我が国は、人生100年時代やSociety5.0、また、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響を受け、社会が大きく変革してきています。文部科学省では、全ての子供たちの可能性を引き出すために、GIGAスクール構想による「デジタルならではの学び」と、子供同士の学び合いや地域社会での多様な体験活動等による「リアルな体験を通じた学び」を車の両輪として推進し、令和の日本型学校教育の実現に向けて、取り組んでいるところです。

ガールスカウト日本連盟におかれましては、創設以来、取り組んでこられた、子供たちが社会を生き抜くために必要な力や、仲間と協力して困難を乗り越えていく力を育む活動の一層の充実を図るとともに、少女と女性の視点で、より幸せな社会の実現に向けて、御尽力いただくことを期待しております。

結びに、ガールスカウト活動100周年を契機として、貴連盟及び関係の皆様、そして本日受賞された皆様の今後ますますの御発展を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

令和3年10月10日
文部科学大臣 末松 信介
(681字)